

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043(223)3005
発行日 毎月1日
令和7年5月号



全農千葉県本部園芸事業の取組

全国農業協同組合連合会千葉県本部
営農園芸部長 増田 大

令和7年度より営農支援部と園芸部が統合し、新たに営農園芸部が発足しました。部門連係をさらに強化し、生産量の維持・拡大を図ります。産地、担い手の課題を把握・共有し、当県本部事業の拡大に繋がる提案活動を強化します。

I. 基本方針

産地・J A・千葉県・(公社)千葉県園芸協会と連携し、市場千葉会や実需者と結びついた販路の確保及び担い手の育成を進め、生産者の経営安定化及び生産拡大を目指し、以下の実行具体策に取り組みます。

II. 令和7年度に向けた取組

(1) 営農支援対策

コスト低減に向けた技術の普及や提案活動の強化及び気候変動・温暖化対策に取り組みます。

(2) 生産対策

重点3品目(にんじん、ねぎ、さつまいも)を中心に生産量の拡大を図り、32万tの取扱を目指します。

(3) 販売対策

市場千葉会と連携し、販売先を明確にした契約・別注・直送の強化を図ります。また、生協・量販店や中食・外食向け食品加工業者等への直接販売強化に取り組みます。

III. 実行具体策

1. 営農支援対策

- (1) 土壌診断結果に基づく適正施肥提案の拡大に取り組みます。
- (2) 園芸主要品目の省力・低コスト技術の普及・拡大に取り組みます。
- (3) 気候変動・温暖化に対応した栽培方法などの検討及び普及に取り組みます。
- (4) G A P等の取組推進による安全・安心な農産物の生産・販売に取り組みます。

2. 生産対策

- (1) 関係機関と連携し、J Aの農業振興計画に基づいた生産拡大と系統未利用・低利用者への系統出荷を誘導します。
- (2) 生産が減少傾向にある重点3品目(ねぎ・さつまいも・にんじん)を中心に生産拡大に取り組みます。

- (3) 新規参入者や若手生産者に対する生産提案を実施し、園芸品目の導入・定着支援に取り組みます。
- (4) 園芸事業の業務効率化を図るため、出荷規格の簡素化・統一化を進めます。
- (5) 安房・君津、山武・印旛、東葛3地区のJ A協議会により課題を共有し、地域の活性化を図ります。

3. 市場販売の拡大

- (1) 千葉会会員市場との連携を強化し、実需者ニーズに対応した販売先の確保を図ります。
- (2) 売り場を確保するため、市場契約や直送・別注取引の予約相対の拡大を進めます。
- (3) 販売促進活動を通じて、県産青果物の消費喚起・需要拡大に取り組みます。
- (4) J A・県・関係機関と連携した花きの販売促進の強化に取り組みます。
- (5) 集出荷場における荷受け・出荷連絡等の集出荷データのデジタル化をすすめ、生産者・J Aの集出荷業務の効率化を図ります。

4. 直販事業の拡大

- (1) 産地と連携した魅力ある商品提案による生協向けの販売を強化し、他県エリア各店舗、他生協など新たな販路拡大を進めます。
- (2) 輸入に依存しているパッケージサラダや総菜、冷凍向け青果物を国産に切り替えるべく、原料供給及び販売の拡大に取り組みます。
- (3) 販売先・実需者を複数有する卸売市場や仲卸との連携強化を図り、需要に応じた品目提案や地域を絞った新たな量販店への販売拡大に取り組みます。
- (4) E C事業(物販)と消費者への情報発信(S N S等)を連動させ、直販チャネルの一つとして、J Aタウンの取扱拡大に取り組みます。
- (5) J A、行政等関係機関と連携し、台湾・マレーシア・タイ等輸出ターゲット国への販売促進と輸出拡大に取り組みます。



**実効的なコナジラミ対策は
ソ レ を徹底するかしないかで決まる！
— まさに今が防除のスタートです！ —**



千葉県農林水産部担い手支援課 専門普及指導室
主任上席普及指導員 木村 美紀・上席普及指導員 清水 健

トマト黄化葉巻病等のコナジラミが媒介するウイルス病が猛威を振るっています。防除対策は、4つのメニュー「出さない」「つながない」「入れない」「増やさない」の全てを行う総合防除です。前作の栽培が終盤を迎える今こそ、対策のスタートです。

1. 令和6年抑制トマトにおける黄化葉巻病

令和6年、抑制トマトではコナジラミの発生量が多く、併せて黄化葉巻病の発生が非常に多くなったことで、出荷量が減少する深刻な被害をもたらしました。また、同じくコナジラミが媒介するウイルスによりスイカ及びメロンでは新病害が立て続けに県内初発生となるなど、コナジラミとそれが媒介するウイルス病に対しこれまで以上に対策の強化が求められています。

2. 『出さない』は自分のため！

病害虫防除というと「よく効く農薬はどれ？」と農薬の選択が注目されがちですが、それだけでは被害を抑えきれないのが現状です。

そこで、ぜひ取り組んで頂きたい防除の基本メニューは以下の4つです。コナジラミを、

- ① 出さない ハウスから出さない
 - ② つながない 次の作へつながない
 - ③ 入れない 外から入れない
 - ④ 増やさない ハウスの中で増やさない
- からなる総合防除です。

間もなく、トマトの前作であるメロンやスイカ等が栽培の終盤を迎えます。収穫が終わると、ホッと一息つきたいところですが、次のトマトへ病害虫防除のバトンをしっかりつなぎましょう！ハウス内のコナジラミはハウス内でしっかり防除し（「出さない！」）、次作のトマトへコナジラミを「つながない」、それが自分のハウス、自分のトマトのための防除対策の土台となります。



育苗ハウスの
入れない対策

小さな隙間も
許さないよ！

3. 『つながない』対策には密閉処理が万能

皆さんは、栽培終了後にハウスの「密閉処理」（「蒸し込み」）に取り組まれていますか？実はこの「密閉処理」、かなり万能な防除対策です。コナジラミだけでなくアザミウマ等にも効果があり、薬剤抵抗性が発達した害虫にもしっかりと効く、施設を活かした低コストな防除方法です。ただし！抑えるべきツボを外すとその効果が薄くなり非常にもったいないので、以下のポイントをぜひ御確認ください。

密閉処理のポイント

- ① まずは、生きている植物をゼロに
虫を餓死させるために、ハウス内の植物を完全に枯死させます。雑草が残っているとそこで生き延びてしまうので注意！
- ② ハウスを10日間以上密閉する
植物が完全に枯死した後に10日間以上を確保することで、幼虫や蛹も死滅させます。

4. 対策のメニューは『全部乗せ』一択！

千葉県にトマト黄化葉巻病の発生が確認されて20年。使用できる農薬の種類が増えたこと、夏季の高温化で防虫ネットを展張することの難しさが増すなど、その中身に多少の違いはありますが、先述の対策技術のメニューそのものは変わっていません。また、メニューという取り組みやすい対策を選びたいと思いますが、コナジラミの対策メニューは選択ではなく全てに取り組むものであり、ラーメンでいうところの『全部乗せ』の一択のみです。

それぞれのメニューに対し、自分の防除対策の弱点を徹底的につぶして、自分の対策を組み立てましょう。スタートは今です。





ナシ黒星病における薬剤散布後の降雨が 防除効果に及ぼす影響

千葉県農林総合研究センター
病理昆虫研究室 研究員 坂口 稔弥

当研究室では、黒星病の予防剤の散布後に人工的に雨を降らせ、降雨による殺菌剤の効果低下の検証を行いました。累積降雨量が 200mm 程度の人工降雨では防除効果の低下はみられず、防除効果に与える影響は小さいと考えられましたので、紹介します。

1. はじめに

ナシ黒星病の防除において、殺菌剤の効果が降雨によってどの程度低下するかという情報は非常に重要です。一般的に殺菌剤では、薬液が乾いた後の降雨は残効に影響を及ぼさないとされています。一方で、カンキツでは、前回の防除からの累積降雨量が次の薬剤散布日を決める目安となっている例もあります。そこで、ナシにおいては降雨が殺菌剤の残効に影響しないのかを調査しました。

2. 試験方法

代表的な予防剤であるベルコートフロアブル 1,500 倍およびチオノックフロアブル 500 倍を散布した1年生の「幸水」鉢苗において薬液が乾いたことを確認した後、人工降雨処理を行いました（写真1）。降雨量は1時間あたり 10mm 程度とし、累積降雨量 0mm（人工降雨を行わない）、100mm、200mm の3段階を設定しました。処理後、黒星病が自然発生するほ場内に鉢を移動して管理しました。10 日程度経過後、ほ場から回収し、再度薬剤散布、人工降雨処理、ほ場再設置を行いました。この薬剤散布・人工降雨処理・ほ場設置を4回繰り返した後に発病調査を行いました。



写真1 人工降雨処理の様子

注) ハウス内上部にかん水チューブを設置し、そこから鉢苗に対して散水した

3. 降雨が残効に与える影響について

両薬剤において、累積降雨量 200mm 区でも人工降雨を行わない 0 mm 区と比較して同程度の防除効果が得られ、降雨による防除効果の低下はみられませんでした。この結果から、累積降雨量が 200mm 程度の雨であれば、予防剤の防除効果に与える影響は小さいと考えられました。

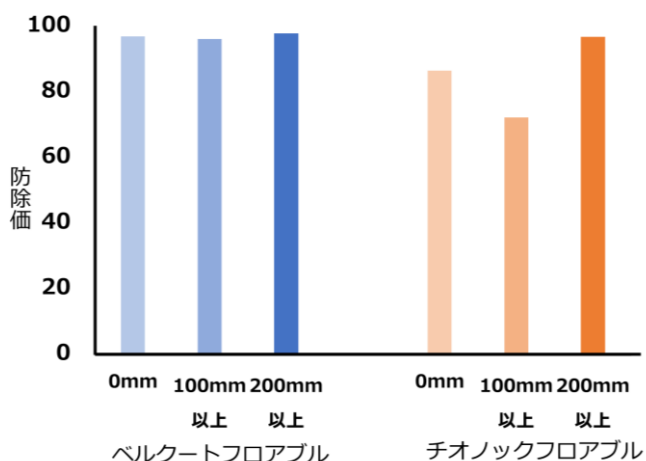


図1 各累積降雨量別のナシ黒星病に対する各薬剤の防除効果

注1) 防除価は防除効果の指標であり、
値が大きいほど高い防除効果であることを示す
2) ナシ黒星病多発生条件下の試験結果

4. 最後に

今回は時間あたり 10mm 程度の降雨を再現した試験を行いました。今後は、近年増加しているとされる集中豪雨が残効に与える影響等について調査を進めていきます。



トルコギキョウ斑点病菌の遺伝子診断技術

千葉県農林総合研究センター
生物工学研究室 研究員 大川 美沙

トルコギキョウ斑点病について、防除の判断が難しい発病初期段階の葉から病原菌の検出が可能な遺伝子診断技術を開発しました。本技術を使用すると、1日以内に斑点病の診断が可能であり、早期防除の判断に活用できます。

1. トルコギキョウ斑点病

トルコギキョウ斑点病（以下、斑点病）は、トルコギキョウの葉にすす状に孢子が密集した病斑が形成され、商品性を低下させる病害です。斑点病を効率的に防除するには、すす状病斑形成前の感染初期の段階で防除を行うことが必要です。

2. 遺伝子診断による斑点病の早期診断技術

斑点病は初期症状として葉に黄斑症状を形成しますが、本症状は生理障害と類似しているため目視によってこれらを判別することは困難です（図1）。また、病原菌の感染から病徴として認識できるすす状病斑を形成するまでの期間が2～4週間と長いいため、感染初期における防除の判断が難しいという問題があります。さらに、斑点病菌の分離による診断は1～2週間を必要とすることから、斑点病の診断が遅れてしまい、防除が間に合わない恐れがあります。そこで、斑点病の早期診断を可能とするため、斑点病菌を検出できる遺伝子診断技術を開発しました。

発病初期



黄斑症状

発病後期



すす状病斑

2～4週間

図1 トルコギキョウ斑点病の発病の経過と特徴

3. PCR法とLAMP法による斑点病の早期診断技術

遺伝子診断は、PCR法とLAMP法の2つの手法を用いました。PCR法は、専用の機械を必要とし

ますが、精度の高い診断を行うことができます。診断に用いる葉からDNAを抽出し、PCR法にかけることで、約5時間で斑点病菌の診断ができます。

LAMP法は、専用の機械を必要としないため、簡単に短時間で診断が行える手法です。切り出した葉片を水に入れてよく振り、その上澄み液をLAMP法に用いることで、約1時間で斑点病菌の診断ができます（図2）。斑点病菌に感染していた場合、遺伝子が増幅され、LAMP反応液の色が黄色に変化します。LAMP法を用いることで、実験室外でも簡単に斑点病の診断を行うことができます。

LAMP法は現場での簡易的な診断手法として用いて、検出精度の高いPCR法は病気を確定する手法として用いることができます。

1. 水道水で葉を洗う。
2. 黄斑部を切り出し3、4等分する。
3. 水を入れたチューブに葉片を入れよく振る。
4. LAMP反応液に3の上澄み液を入れる。
5. 反応液をジップロックに入れ、お湯（60～70℃）に30分間入れる。
6. チューブを取り出し反応液の色で判定を行う。
陽性：黄色
陰性：赤色



図2 LAMP法によるトルコギキョウ斑点病の現地診断

4. おわりに

遺伝子診断技術によって、1日以内に斑点病の診断を行うことが可能になりました。本手法を用いることで、斑点病の早期防除の判断やトルコギキョウ斑点病菌の発生生態の解明につながることを期待できます。

施設園芸セーフティネット構築事業の加入募集について

千葉県農林水産部生産振興課 園芸振興室

施設園芸セーフティネット構築事業は、燃料価格が基準価格を超えた場合に補てん金が交付され、価格高騰による影響を緩和することができる制度です。現在、令和7事業年度の加入を募集しています。ぜひ加入を御検討ください。

1. 事業加入の要件

園芸施設の加温に、A重油、灯油、LPガスやLNGを使用する施設園芸農家3戸以上、又は農業従事者5名以上で構成する農業者団体等（農事組合法人、JAの出荷部会、任意組合等）が対象です。

申し込みには当たっては、燃料使用量を3か年で15%削減する省エネルギー等対策推進計画を策定する必要があります。策定した計画及び生産管理チェックシートに基づき、ハウスの温度管理の改善やヒートポンプ等の省エネ型加温機の活用などにより、燃料使用量の削減に取り組んでいただきます。

また、事前にセーフティネットの対象となる燃料購入数量と生産者分の積立金を設定します。積立金は4段階のコースがあり、積立資金を低く抑えたい場合や、高騰に備えて積立金を高く設定したい場合などにも対応できます。

申込書類の提出後、積立金を千葉県農業再生協議会に納入します。なお、事業を利用しなくなった場合は、未使用の積立金が全額返還されます。

2. 補てん金の交付

補てん金が交付される基準価格は、令和7事業年度はA重油 94.1 円/L、灯油 99.7 円/L、LPガス 124.2 円/kg、LNG 70.2 円/m³です。各燃料の価格がこの基準価格を上回った場合、生産者の積立金：国の補助金＝1：1で造成した補てん金が交付されます。

補てん金は月ごとに支払われ、発動した月の2～3か月後に交付されます。なお、積立金を使い切った時点で、当該事業年度の補てんは終了となります。

3. 申込先

千葉県農林水産部生産振興課のホームページから各様式を入手できます。必要事項を記載し、資料を添付の上、最寄りの農業事務所企画振興課まで提出してください。

【生産振興課ホームページ】

URL：<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/kinyuu/seisanhanbai.html#nenyu>

特に、初めて本事業に申し込む場合は、申込期限に関わらずお早めに最寄りの農業事務所企画振興課へ御相談ください。

農業事務所への申込期限は令和7年7月18日（金）（予定）です。



果樹産地強靱化支援事業のお知らせ

千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

果樹生産において、地球温暖化等の影響により増大する気象災害リスク等に備える取組を支援するため、多目的防災網の再整備に対し助成します。本事業は今年度の新設し、将来にわたる果樹産地の維持を図ります。

1. 事業概要

- (1) 実施主体：認定農業者、認定新規就農者 等
- (2) 対象経費：果樹棚の改修及び改修に伴う多目的防災網の再整備に係る経費
- (3) 補助率：1/4以内
- (4) 補助要件：農振農用地、生産緑地、市町村基本構想等に位置付けのある農地いずれか

2. 申請方法

事業の申請は、市町村を経由して農業事務所へ提出となります。事業の活用を検討される場合は、最寄りの農業事務所企画振興課へ御相談ください。千葉県農林水産部生産振興課のホームページから各様式が入手可能です。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/kinyuu/seisanhanbai.html#ksk>

※ 本事業は、令和4年度の雹害を受けて令和4～6年度で緊急的に多目的防災網の整備・再整備を支援した「気象災害に強い果樹産地支援事業」とは異なります。



(参考)多目的防災網



※詳細は千葉県 HP を御覧ください。

催物案内



千葉県立農業大学校オープンキャンパス・ 1日体験入学の開催について

農業大学校の授業(実習)を見学・体験しませんか。キャンパスツアーでは、学生寮、農場、畜舎などの学校設備を御案内します。

オープンキャンパス 授業(実習)の見学・キャンパスツアー ※ 実施時間 10:20～14:15	
第1回	5/10 (土)
第2回	7/27 (日)
第3回	8/6 (水)
第4回	8/22 (金)
第5回	8/27 (水)

1日体験入学 実習体験・キャンパスツアー ※ 実施時間 10:30～15:00	
第1回	6/15 (日)
第2回	7/30 (水)

申込方法：QRコードからお申し込みください
申込締切：実施日の2週間前13時

オープンキャンパス



一日体験入学



本校 HP <https://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>
メール noudai01@mz.pref.chiba.lg.jp

問合せ先：千葉県立農業大学校農学科

〒283-0001 東金市家之子 1059

電話：0475-52-5122 FAX：0475-54-0630